



REPORT

12/18に“脳といのち”のイノベーションハブ設立記念シンポジウム＆開所式を開催しました

2025年8月に、令和4年度「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」にて整備した「“脳といのち”のイノベーションハブ（BIH）」が竣工しました。同施設は、J-PEAKS重点分野“脳といのち”領域をはじめ、ヘルス・ライフサイエンス分野のオープンイノベーション拠点として整備されています。

この度BIH設立を記念し、2025年12月18日（木）14時から、「地域から世界へ産学官で創るヘルス・ライフソリューション」をテーマにシンポジウム・開所式を開催いたしました。

当日の様子を写真多めでお届けします！

第1部“脳といのち”のイノベーションハブ（BIH）設立記念シンポジウム

旭町総合研究実験棟6F中田記念ホールを会場とし、産学官から約110名（現地約80名、オンライン約30名）の参加者にお集まりいただきました。



川端和重理事の開会挨拶の後は、文部科学省 科学技術・学術政策局 西條正明局長をはじめ4名の来賓の方々から本学への期待のお言葉、インド理工学院大学(IITs)脳研究所(CBR)所長からはお祝いのビデオメッセージを賜りました。

牛木辰男学長からの概要紹介および脳研究所 柿田明美教授からの研究紹介に続いて、味の素株式会社アミノインデックス事業部長 影山陽子さまから、「企業から見た“脳といのち”のイノベーションハブ（BIH）への期待」と題した基調講演が行われました。

同社と脳研究所池内健教授との共同研究の成果を活用した「アミノインデックス・リスクスクリーニング（AIRS）」のご紹介や、“脳といのち”だけでなく“食と健康”領域を含めた本学への期待など、今後の取組に資する多くの知見を共有いただきました。その後の質疑応答の時間には、講演者に対し多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

末吉邦理事の閉会挨拶をもって、盛況のうちに第1部を終了いたしました。



イラスト：牛木辰男学長

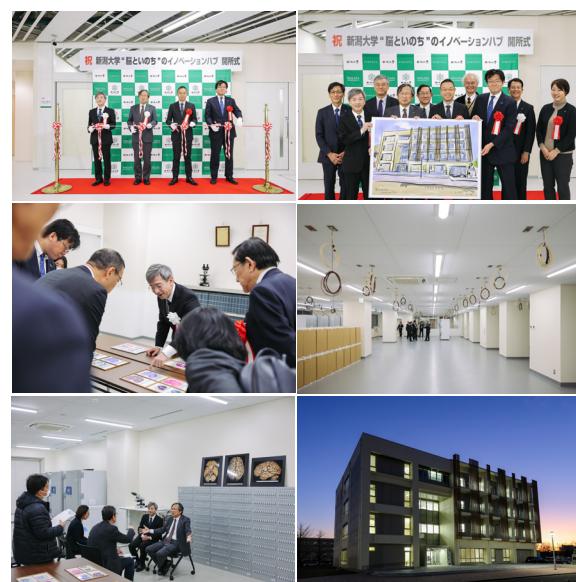
第2部“脳といのち”のイノベーションハブ（BIH）開所式

BIHに移動後、牛木辰男学長の開会挨拶の後、西條局長、花角新潟県知事（代理）、牛木学長、柿田教授の4名が並んでテープカットを実施し、牛木学長が描いたBIHのイラストを囲んで記念撮影を行いました。

本施設で来年2月以降、1階ライフソリューション推進室、コワーキングスペース、2階レンタルラボ、3-4階ひと脳研究資源イニシアチブ推進センター（ChBRI：シブリ）が稼働を開始します。現在設備は搬入途中ですが、内覧会では高い関心を集め、報道各社から多くの質問が寄せられました。その後、染矢俊幸理事の閉会挨拶をもって、第2部も無事終了いたしました。

おかげさまでBIHは順調な第一歩を踏み出すことができました。

年末のお忙しい中ご参加いただいた皆さま、これまで尽力いただいたすべての皆さんに、厚く御礼申し上げます。



2026年9月に

「新潟大学J-PEAKS WEEK」を開催します！

新潟大学では、J-PEAKSに関する複数のイベントを集中的に実施する「新潟大学J-PEAKS WEEK」を開催予定です。本学の強み・特色ある研究や大学改革の最前線を発信し、対話を重視した参加型イベントを目指しています。続報にご期待ください！

PROJECT

連携活動が進行中！J-PEAKS新センター・拠点の今

本学J-PEAKSでは現在、4つの新センター・拠点の設置を進めています。

これらのセンター・拠点を重点分野をはじめ幅広い分野・企業等が活用することで、研究成果やイノベーションの創出を目指します。

本号では、すでに進行している国内外研究機関との連携活動をご紹介します。

① 脳研究所+ひと脳研究資源イニシアチブ推進センター (ChBRI : シブリ)

[BIH3-4階に2026年4月設置予定]

日印脳科学研究者が集う共同シンポジウムを開催しました（9/9）

インド理科大学院大学(IISc)の脳研究所(CBR)および神経科学研究所(CNS)の研究者等との研究交流および施設見学を実施し、共同運用ラボの設置、医学・健康分野での協力、学生交流、脳科学分野での共同研究強化の方針を確認いたしました。

<https://www.niigata-u.ac.jp/news/2025/935445/>



③ 日本酒学センター+ フード&ヘルスイノベーション共創センター (FHI)

[産学連携共同研究棟2号棟1・2階に2026年1月設置予定]

ボルドー大学とのJ-PEAKSにおける連携キックオフミーティングを実施しました（9/24）

ボルドー大学ブドウ・ワイン科学研究所(ISVV)からパトリック・ルーカス教授をお招きし、日本酒学とワイン学との連携を基盤に、他分野にも協力関係を拡大する方針を確認いたしました。また、本学からFHIの概要と摂食・嚥下研究に関する情報提供を行いました。

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/news/956802/>



UPDATE

【続報】2026年4月公募開始予定・全学対象「戦略的飛躍プログラム 1stステージ」*

(*前号でご案内しました学内公募事業「J-PEAKSファンド」について、名称を「戦略的飛躍プログラム」に統一いたしました。)

ただいま公募準備中です。今回は、研究力向上戦略に基づく本事業の主な狙いをご説明します。それは次の2点です。

- ・論文発表や外部資金獲得、イノベーションの創出など、成果の創出を図ること
- ・新センター等の全学的な定着・活用を図るとともに、国内外の連携先との継続的な関係構築に資すること

新センター等の活用が要件となりますので、ぜひ引き続き最新動向にご注目ください。詳細は、J-PEAKSウェブサイトにてお知らせします。

● J-PEAKSプロジェクト現場からのひとこと便り ●

J-PEAKS NOW第2号発刊です。4月の事業開始とともに担当となりましたが、毎日があつという間に過ぎ去っていき、先月の創刊号もまだ数日前のことのように思えてしまいます。先日、J-PEAKS事業アンケートが実施され、本学の回答率は全体平均を大きく上回り50%を超える回答を得ることができました。多くの皆様にご協力いただきましたこと、感謝いたします。本アンケートは今後も3年目、5年目と続いているので、事業の成果・効果を学内の教職員の皆様に感じていただけるよう運営側も気を引き締めてまいりたいと思います。

年の瀬も迫ってまいりましたが、26日には連携大学である中部大学との研究交流会を開催予定です。来年はさらに積極的に事業の活動状況について情報発信に努めてまいりますのでよろしくお願いします。【YS】

● お問合せ・ウェブサイト ●

○お問合せ：新潟大学 研究企画推進部 研究推進課

TEL: 025-262-7174

MAIL: kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp

○新潟大学J-PEAKS ウェブサイト

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/>

本学J-PEAKS関連のイベント情報や活動状況をご確認いただけます。



○新潟大学J-PEAKS 学内者向けページ

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/2PLWiy>

全学への迅速な情報共有および事業運営の透明性を図るため、予算配分を含むグランドデザインや会議資料等を、常時学内限定公開しています。よりも詳しい情報をご覧になりたい場合は、こちらにアクセス願います。

